

有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名「ポストコロナにおける移動ニーズに対応したビジネスジェット等の活用に関する調査研究」	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者：加藤 一誠 氏 慶應義塾大学 商学部 教授 伊与田 美歴 氏 独立行政法人 国際観光振興機構 理事	
意見の概要	意見に対する対応
<ul style="list-style-type: none"> ・選定候補地において、選定基準については、例えば高級リゾート地や自然的なものにかたよらず、文化や遺跡が有名な地域など、バランスを考慮し選定すべきと考える。(伊与田理事) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化や遺跡を含む各種ツーリズムに加え、カジノやタックスヘイブンが来訪とされている地域を除外する等、国内の地域振興への参考とすることからバランスを考慮の上で地域を選定した。
<ul style="list-style-type: none"> ・各種ツーリズムの分類については、各部門において政策の名称等も含め名称が統一されていないところである。それらの一般的にわかりにくい名称等は報告書においては、説明を入れるとよいと考える。(加藤教授) 	<ul style="list-style-type: none"> ・引用等を活用し、わかりにくい名称等については補足説明を追加した。
<ul style="list-style-type: none"> ・報告書のまとめについては海外の事例においてその施策や取組を誰が提供しているかを整理し記載することで、具体性が増し、今後検討していく関係者にとってより参考となると考える。(加藤教授) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4章の取組事例の整理表にて、地域と国、施策や取組における管轄・認定先を記載しまとめた。
<ul style="list-style-type: none"> ・2023年3月に閣議決定の『観光立国推進基本計画』をはじめとした各種計画等において高付加価値旅行者等への対応が記載されており、今回の報告書においてビジネスジェットや地域のウリ等についても、引用等を活用し、関連性が記載されているとよい。それが整理されていると、今後検討していく関係者にとってより参考となると考える。(加藤教授) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2章及び第4章にて、各種計画等における高付加価値旅行者等への対応との関連性について報告書に記載した。
<ul style="list-style-type: none"> ・本報告書の各分類の中では、特に二次交通に関する部分、シームレスな移動が今後重要と考えられる。波及効果という点においても全てにおいて交通手段は必要である。今後、国内での調査にて二次交通の事業者及び空港関係事業者の活用を含めて検討すべきと考える。(伊与田理事) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本調査は2か年調査の1年目であり、1年目は海外の事例を主に調査した。2年目である令和5年度の調査にて、特に二次交通、ビジネスジェット等の利用者におけるシームレスな移動について、国内における提供事例について事業者へのヒアリングを中心に調査を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・二次交通に関する部分、シームレスな移動において海外から直接地方空港に来訪される場合、CIQ等の動線についても課題であると考えられる。(加藤教授) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年目である令和5年度の調査にて二次交通、ビジネスジェット等の利用者におけるシームレスな移動について、国内における提供事例について事業者へのヒアリングを中心に調査を行う予定であるが、その際に動線の具体的な対応事例を併せて調査する。